

熊谷 崇 について



				職 歴
年号	年	月	日	事 項
昭和	46	4		横浜市港北区開業
昭和	55	4		山形県酒田市に移転開業（日吉歯科診療所）
平成	1			日本歯科医師会 歯学研修セミナー 講師（2年間）
平成	7	4		新潟大学歯学部 非常勤講師
平成	9	4		東京医科歯科大学歯学部同窓会ポストグラデュエートコース 講師（3年間）
平成	10	4		東北大学歯学部 非常勤講師
				九州歯科大学歯学部 非常勤講師
平成	13	4		九州大学歯学部 非常勤講師
				東北公益大学 特別講師
平成	15	4		鶴見大学歯学部 非常勤講師
	16	4		日本大学歯学部 非常勤講師
	17	4		日本歯科医師会 生涯研修セミナー 講師
	18	4		日本大学 客員教授
所属学会並びに学会及び社会における活動				
年号	年	月	日	事 項
昭和	56	10	14	日本歯周病学会 会員
	58	4		A. A. P.（アメリカ歯周病学会）会員
平成	7	4		Affiliated Member of the Scientific Board I. H. C. F.
	8	7	12	日本口腔衛生学会 会員
	14	9	9	日本歯科保存学会 会員

業 績 目 録

平成 年 月 日

氏 名 熊 谷 崇 印

【原著論文】

- 1) Kumagai T, Fedi PF Jr, Ishii M (1988) Standardized intraoral photography for the dental team. J Am Dent Assoc, 116, 677-680
- 2) 田浦勝彦, 小澤雄樹, 浅沼 慎, 楠本雅子, 松坂朋典, 坂本征三郎, 熊谷 崇 (1999) 初期齲蝕の検出に関する新しい考え方 歯科用探針は侵襲性の大きい齲蝕診査器具である. 口腔衛生学会雑誌, 49, 145-150
- 3) Nomura Y, Senpuku H, Hanada N, Kumagai T (2001) Mutans streptococci and Lactobacillus as risk factors for dental caries in 12-year-old children. Jpn J Infect Dis, 43-45
- 4) Sato T, Matsuyama J, Kumagai T, Mayanagi G, Yamaura M (2003) Nested PCR for detection of mutans streptococci in dental plaque. Lett Appl Microbiol, 66-69
- 5) Tamaki Y, Nomura Y, Takeuchi H, Ida H, Arakawa H, Tsurumoto A, Kumagai T and Hanada N (2006) Study of the clinical usefulness of a dental drug system for selective reduction of mutans streptococci using a case series J Ora Sci; 48(3): 111-6
- 6) Miyamoto T, Kumagai T, Van Dyke TE, Nunn ME (2006) Compliance as a prognostic indicator: Retrospective study of 505 patients treated and maintained for 15 years. J. Periodontol; 77(2):223-32
- 7) Miyamoto T, Morgano SM, Kumagai T, Jones JA, Nunn ME (2007) Treatment history of teeth in relation to the longevity of the teeth and their restorations: outcomes of teeth treated and maintained for 15 years. J Prosthet; 97(3):150-6.
- 8) Takeshita T, Nakano Y, Kumagai T, Yasui M, Kamio N, Shibata Y, Shiota S and Yamashita Y (2008) The ecological proportion of indigenous bacterial populations in saliva is correlated with oral health status. The ISME Journal in press.

【総説・解説】

- 1) 熊谷 崇 (1985) 重症の歯周病患者の治療例(上). 歯界展望, 65, 335-347
- 2) 熊谷 崇 (1985) 重症の歯周病患者の治療例(下). 歯界展望, 65, 543-553
- 3) 熊谷 崇 (1986) 少数歯残存の歯周補綴と硬化性骨炎. 歯界展望 67, 787-795
- 4) 熊谷 崇 (1986) [今日の歯科臨床とテンポラリーレストレーション(その1)] 歯周疾患症例に対するプロビジョナルレストレーション(治療用修復物)の臨床的意義, 日本歯科評論 523, 79-112
- 5) 熊谷 崇, 熊谷ふじ子, 太田久美, 他 (1986) 規格性のある口腔内写真の撮り方. 歯界展望, 68, 473-482
- 6) 熊谷 崇 (1987) 歯周病学を根底においた治療を行うための診査とは. 歯界展望, 70, 793-808
- 7) 熊谷 崇, 他 (1987) 私がめざす歯周病の治療. 歯界展望, 70, 809-816
- 8) 熊谷 崇 (1987) 不良な治療を「不良治療」と考えない歯科医療の現実. The Quintessence, 6, 487-499
- 9) 熊谷 崇 (1987) 歯周病の診査を問う 診査について考えるための1症例(症例B). 歯界展望, 69, 129-133
- 10) 熊谷 崇 (1987) [難治性(抗療性)歯周炎をめぐって(上)] 難治性歯周炎を疑う 2

- 症例. 歯界展望, 69, 299-314
- 11) 熊谷 崇 (1989) 歯周病の多様性をどうとらえるか. 歯界展望, 73, 45-52
 - 12) 熊谷 崇 (1989) 治りやすい歯周病. 歯界展望, 73, 71-78
 - 13) 熊谷 崇 (1989) 治りにくい歯周病. 歯界展望, 73, 91-98
 - 14) 熊谷 崇 (1989) 経過例に学ぶ 重度の歯周病患者の経過(上). 歯界展望, 74, 43-50
 - 15) 熊谷 崇 (1989) 経過例に学ぶ 重度の歯周病患者の経過(下). 歯界展望, 74, 299-306
 - 16) 熊谷 崇 (1989) 一般歯科臨床医にとっての予防啓蒙の意義. The Quintessence, 8, 1669-1678
 - 17) 池田雅彦, 熊谷 崇, 鈴木文雄(1990) 他最近の歯周治療の流れ 日常臨床における歯周疾患への取組み 日常臨床の立場から. 日本歯科医師会雑誌, 43, 601-605
 - 18) 熊谷 崇 (1991) 歯科臨床 近未来への模索 多発する歯周疾患への対応(1) ホームドクターとしての歯科医師の役割 中等度の成人型歯周炎への対応(上). 歯界展望, 77, 101-116
 - 19) 熊谷 崇 (1991) ホームドクターとしての歯科医師の役割 中等度の成人型歯周炎への対応(下). 歯界展望, 77, 307-318
 - 20) 岡 賢二, 石井正敏, 熊谷 崇 (1991) ケースプレゼンテーションに対する1つの試み マルチデュプリケート・システムとその利用. 歯界展望, 77, 898-906
 - 21) 熊谷 崇 (1991) 初期歯周炎の治療を求めて ホームドクターとしての歯科医師の役割. 歯界展望, 77, 1308-1311
 - 22) 熊谷 崇 (1991) 広範な意味での診療の展開も 地域活動の積極的な展開も必要. 歯界展望, 78, 1097-1100
 - 23) 大西省三, 熊谷 崇, 岡 賢二 (1991) 喫煙と歯周治療の関係を啓蒙するために 患者さん向けパンフレットの作成. 歯科衛生士, 15 (10), 15-26
 - 24) 大西省三, 熊谷 崇, 岡 賢二 (1992) 小児の齲蝕予防のためのパンフレット作成 (Part 1). 歯科衛生士, 16 (9), 20-22
 - 25) 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (1994) 科学的な齲蝕予防への提言 カリエスリスクの判定と対応. 歯科衛生士, 18 (4), 12-25
 - 26) 太田久美, 熊谷 崇 (1994) 金属アレルギー症例への対応を通して. デンタルハイジーン, 14, 314-319
 - 27) 熊谷 崇 (1994) Cariology を基本とした齲蝕の診断と処置. 歯界展望, 84, 562-593
 - 28) 土屋真規, 熊谷 崇 (1994) 歯科医院におけるプラークコントロールシステムの構築. 歯界展望, 84, 57-106
 - 29) 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (1994) 科学的な齲蝕予防への提言 カリエスリスクの判定と対応. 歯科衛生士, 18 (5), 14-28
 - 30) 熊谷 崇 (1994) オブザベーションによる初期う蝕の管理. 日本歯科評論, 624, 75-96
 - 31) 佐藤田枝, 熊谷 崇 (1994) 科学的な齲蝕予防への提言 歯科衛生士が行うリスク判定資料収集の実際. 歯科衛生士, 18 (11), 14-26
 - 32) 本間和佳子, 熊谷 崇 (1994) こうすれば誰にでも撮れる口腔内規格写真 2分25秒で14枚の口腔内規格写真が撮れた! 新人歯科衛生士の1年間のあゆみ. デンタルハイジーン, 14, 905-918
 - 33) 太田久美, 熊谷 崇 (1995) 歯周治療における歯科衛生士の役割 初期・中等度症例の経過を追って. デンタルハイジーン, 15, 109-135
 - 34) 本間和佳子, 熊谷 崇 (1995) 初めて中等度歯周炎の患者さんを担当した際のシャープニングについて考える. 歯科衛生士, 19 (10), 14-24
 - 35) 冨塚久美, 熊谷 崇 (1995) インストルメントの耐久性を高めるシャープニング. 歯科衛生士, 19 (10), 25-34
 - 36) 熊谷 崇 (1995) 早期発現型歯周炎の診断の重要性とその方法に関する私見. 歯界展望, 86, 791-811
 - 37) 佐藤田枝, 熊谷 崇 (1995) 歯周治療における歯周病原菌検査薬ペリオチェックの

- 役割. 歯科衛生士, 19 (11), 13-21
- 38) 熊谷 崇 (1996) カリエスフリーの永久歯列をもとめて 診療室からのケースプレゼンテーション リスク診断に基づいた齲蝕予防プログラムの確立を. デンタルハイジーン, 16, 14-28
- 39) 岡 賢二, 熊谷 崇, 藤木省三 (1996) 鑑別診断とリスク管理に基づく齲蝕と歯周病への対応. 歯界展望, 87, 297-343
- 40) 熊谷 崇 (1996) 対症療法から原因療法への転換は補綴治療・歯科技工を変える. 歯科技工, 24, 278-284
- 41) 熊谷 崇 (1996) 矯正治療時におけるう蝕と歯周病のリスク診断. 日本臨床矯正歯科医会雑誌, 7, 99-102
- 42) 熊谷 崇, 菅野 宏, 藤木省三 (1996) う蝕発症の部位特異性. The Quintessence, 15, 1309-1329
- 43) 熊谷 崇, 菅野 宏, 藤木省三 (1997) コンピュータによる新しい患者管理 その意義と可能性. 歯界展望, 89, 425-448
- 44) 熊谷 崇 (1997) カリオロジーは日本の歯科臨床を変えるか? 私の齲蝕予防の視点を取り入れた臨床から. The Quintessence, 16, 89-112
- 45) 熊谷 崇 (1997) 新しいウ蝕治療のコンセプト. デンタルダイヤモンド, 22 (7), 8-13
- 46) 田浦勝彦, 熊谷 崇 (1997) ウ窩の診断. デンタルダイヤモンド, 22 (7), 54-63
- 47) 小澤雄樹, 坂本征三郎, 熊谷 崇 (1997) 健全な歯及び早期予防に失敗した歯の処置 シーラントを中心に. デンタルダイヤモンド, 22 (7), 76-87
- 48) 熊谷 崇, 熊谷ふじ子 (1997) ウ蝕治療の REVOLUITON 健康な永久歯列の育成. デンタルダイヤモンド, 22 (7), 96-108
- 49) 熊谷 崇 (1997) 齲蝕の原因への対応 齲蝕の治療とその目標. 補綴臨床 別冊新しい齲蝕学 修復学を求めて, 43-54
- 50) 田浦勝彦, 熊谷 崇 (1997) 新しい齲蝕学・修復学を求めて 治療学-エナメル質の再生をうながす治療 脱灰と再石灰化. 補綴臨床 別冊新しい齲蝕学 修復学を求めて, 85-88
- 51) 熊谷 崇, 熊谷ふじ子, 田浦勝彦 (1997) 初期齲蝕の診断と処置 シーラントは全ての裂溝に必要か! 本当の適応症例を見直す. 歯科衛生士, 21 (7), 18-33
- 52) 田浦勝彦, 小林清吾, 熊谷 崇, 他 (1997) 禍を転じて福となした国 ニュージージーランドの歯科保健医療の歴史から学ぶ ニュージージーランドの歯科保健医療対策と日本(I). 歯界展望, 90, 473-484
- 53) 熊谷 崇 (1997) 科学的手法による齲蝕の予防・診断・処置と再発防止 21世紀への提言 治療から予防へ. 歯界展望, 90, 547-550
- 54) 熊谷 崇 (1997) 科学的手法による齲蝕の予防・診断・処置と再発防止 カリオロジーに基づく口腔の健康管理. 歯界展望, 90, 551-574
- 55) 田浦勝彦, 小林清吾, 熊谷 崇, 他 (1997) 禍を転じて福となした国 ニュージージーランドの歯科保健医療の歴史から学ぶ ニュージージーランドの歯科保健医療対策と日本(II). 歯界展望, 90, 677-689
- 56) 熊谷 崇 (1997) 【科学的手法による齲蝕の予防・診断・処置と再発防止】 初期齲蝕の診断と治療の新たなコンセプト 健診における探針使用と早期発見・早期治療の誤り. 歯界展望, 90, 795-816
- 57) Larmas Markku, 熊谷 崇 (1998) 上顎前歯歯頸部の齲蝕に対する原因指向型治療. The Quintessence, 17, 43-53
- 58) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし 唾液と口腔の健康, 口腔疾患の関わり. 歯科衛生士, 22 (6), 60-62
- 59) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし 唾液の緩衝作用. 歯科衛生士, 22 (7), 36-40

- 60) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし う蝕のリスク要因について. 歯科衛生士, 22 (8), 40-43
- 61) 佐藤田枝, 熊谷 崇 (1998) 【キシリトール再考】 キシリトールの齲蝕予防効果を臨床から検証する. デンタルハイジーン, 18, 882-888
- 62) 熊谷 崇 (1998) 【歯周病治療の新しいパラダイム】 新しい歯周病管理のシステムを目指して 歯周病は予防可能な疾患なのか. 歯界展望, 92, 762-808
- 63) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし 唾液の浄化作用について. 歯科衛生士, 22 (9), 52-54
- 64) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし 唾液の分泌について(1). 歯科衛生士, 22 (10), 52-54
- 65) 熊谷 崇 (1998) 齲蝕検診における探針使用の是非を問う 齲蝕検診における早期発見・早期治療と探針使用の問題点 問題提起に代えて. 歯界展望, 92, 1291-1309
- 66) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし 唾液の分泌について(2). 歯科衛生士, 22 (11), 52-54
- 67) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1998) やさしい唾液のはなし 唾液分泌の減少と口腔乾燥症(1). 歯科衛生士, 22 (12), 50-52
- 68) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1999) やさしい唾液のはなし 唾液分泌の減少と口腔乾燥症(2). 歯科衛生士, 23 (1), 56-60
- 69) 菅野 宏, 小口道生, 熊谷 崇 (1999) やさしい唾液のはなし 臨床における唾液検査結果の考察. 歯科衛生士, 23 (2), 56-59
- 70) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ ミクロの攻防. デンタルハイジーン, 19, 147-152
- 71) 熊谷 崇 (1999) 21世紀の補綴治療への提言〜対症療法から Oral Health の視点へと齲蝕と歯周病に関する患者のリスク診査・診断とマネジメントの効果は予防だけにはとどまらない. 補綴臨床, 32, 18-28
- 72) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!HEALTH CARE WORLDへ 齲蝕ってどんな病気?. デンタルハイジーン, 19, 241-246
- 73) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!HEALTH CARE WORLDへ 歯周病ってどんな病気?. デンタルハイジーン, 19, 337-345
- 74) 菅野 宏, 熊谷 崇 (1999) やさしい唾液のはなし ライフサイクルと唾液. 歯科衛生士, 23 (3), 60-62
- 75) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!HEALTH CARE WORLDへ 情報を集めよう. デンタルハイジーン, 19, 442-447
- 76) 熊谷 崇, 藤木省三, 熊谷ふじ子, 岡 賢二, 村松いづみ, 伊藤 中, 菅野 宏, 小口道生, 太田久美, 小川敦子, 冨塚久美, 佐藤田枝(1999)わかる!できる! 実践カリオロジー. デンタルハイジーン 別冊わかる!できる!実践カリオロジー1-127
- 77) 小川敦子, 熊谷 崇 (1999) 最新器具・器材から T.K ファーケーションファイルの臨床応用. 歯科衛生士, 23 (5), 64-65
- 78) 熊谷 崇 (1999) 【臨床検査が歯科医療を変える】 齲蝕の診断と治療における臨床検査の必要性. 歯界展望, 93, 1226-1234
- 79) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ 齲蝕ってどうやって診査・診断するの?. デンタルハイジーン, 19, 531-536
- 80) 小口道生, 熊谷 崇 (1999) 実践歯学ライブラリー カリエスリスクの診断法の実際. デンタルダイヤモンド, 24 (9), 27-45
- 81) 小川敦子, 熊谷 崇 (1999) 【長期経過症例にみるメンテナンスの課題 さらになる健康管理をめざそう!】 メンテナンスのベーシック メンテナンスは「コンプライヤー」を育てることから. 歯科衛生士, 23 (7), 19-25
- 82) 太田久美, 熊谷 崇 (1999) 【長期経過症例にみるメンテナンスの課題 さらになる健康管理をめざそう!】 長期メンテナンスからの提言 11年, 15年経過症例から

- 学ぶ「未然に防ぐこと」の意義. 歯科衛生士, 23 (7), 26-33
- 83) 佐藤田枝, 熊谷 崇 (1999) 【長期経過症例にみるメンテナンスの課題 さらなる健康管理をめざそう!】 メンテナンスからヘルスプロモーションへ 家族に対するアプローチの意義と効果. 歯科衛生士 (7), 23, 34-43
- 84) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ 歯周病ってどうやって診査・診断するの?. デンタルハイジーン, 19, 639-642
- 85) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ 知識を臨床現場でどう生かす?. デンタルハイジーン, 19, 739-743
- 86) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ 齶蝕のプロセスをコントロールしよう!. デンタルハイジーン, 19, 843-845
- 87) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ 歯周病のプロセスをコントロールしよう!. デンタルハイジーン, 19, 939-942
- 88) 熊谷 崇, 岡 賢二, 藤木省三, 熊谷ふじ子, 伊藤 中, 菅野 宏, 小口道生, 太田久美, 小川敦子, 富塚久美, 佐藤田枝 (1999) わかる!できる! 実践ペリオドントロジー. デンタルハイジーン 別冊わかる! できる!実践ペリオドントロジー!, 1-131
- 89) 伊藤 中, 熊谷 崇 (1999) ようこそ!Health Care Worldへ メンテナンスってなんだろう?. デンタルハイジーン, 19, 1043-1046
- 90) 熊谷 崇 (2000) 【21世紀へのトレンド 21世紀への橋わたし】 歯科医院における予防管理を定着させるために 日吉歯科診療所のデータからみた日本の現状. 日本歯科評論, 687, 89-99
- 91) 熊谷 崇 (2000) 21世紀への橋わたし 歯科医院における予防管理を定着させるために 健康を守り育てる歯科医療 診療室における実践. 日本歯科評論, 688, 137-156
- 92) 熊谷 崇 (2000) 21世紀への橋わたし 歯科医院における予防管理を定着させるために 歯科医療の未来像 地域での取り組みを踏まえて. 日本歯科評論, 689, 127-142
- 93) 熊谷 崇 (2000) カリオロジーの臨床実践 臨床における S. mutans 除菌の必要性和 3DS (臨床データからの考察). 日本歯科評論, 692, 104-118
- 94) 熊谷 崇 (2000) 21世紀, う蝕は制圧できるか? 予防歯科の実践に向けて 予防歯科医療におけるニューパラダイム. デンタルダイヤモンド, 25(10), 178-181
- 95) 熊谷 崇, 小口道生 (2000) 実践歯学ライブラリー カリオロジーにおけるフッ化物の役割. デンタルダイヤモンド, 25 (14), 28-37
- 96) 熊谷 崇 (2001) 【21世紀の歯科医学 研究・臨床の現在と未来】 カリオロジーの概念におけるパラダイムシフト. The Quintessence, 20, 190-193
- 97) 熊谷ふじ子, 富樫ひとみ, 伊原笑美, 佐藤美紀, 金谷史夫, 熊谷 崇 (2001) カリエスフリーの子ども達を育成するクリティカルパス 日吉歯科診療所におけるう蝕予防の取り組み. 歯科衛生士, 25 (7), 34-51
- 98) 金谷史夫, 野村義明, 太田久美, 小川敦子, 熊谷 崇 (2001) 中等度, 重度歯周炎患者と基礎疾患の関わり. 歯科衛生士, 25 (11), 13-22
- 99) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 生涯を通じた健康な口腔に不可欠な口腔育成 診療室でのう蝕治療. The Quintessence, 22, 67-75
- 100) 小口道生, 佐藤田枝, 熊谷 崇 (2002) 超音波スケーラーの臨床活用 初期及び中等度の歯周病患者の症例における考察. 歯科衛生士 (1), 26, 28-36
- 101) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 生涯を通じた健康な口腔に不可欠な口腔育成 ヘルスプロモーション型の学校歯科健診. The Quintessence, 22, 579-587
- 102) 野村義明, 熊谷 崇, 景山正登, 斎藤直之, 武内博朗, 花田信弘, 鶴本明久 (2003)

- 歯科臨床次の一手 チェアサイドにおける口腔保健のマネジメント 臨床検査の意義 う蝕のリスク検査を中心に. デンタルダイヤモンド, 28 (2), 46-51
- 103) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 高齢社会での公益的歯科医療のあり方. The Quintessence, 22, 77-85
- 104) 伊藤智恵, 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル考察 生涯を通じた健康な口腔に不可欠な口腔育成 咬合管理. The Quintessence, 22, 821-828
- 105) 西真紀子, 村松いづみ, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention(2) 前う窩病変. The Quintessence, 22, 1253-1261
- 106) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル考察 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention(1)最小限の介入で最大限の効果を提供する医療. The Quintessence, 22, 1041-1048
- 107) 村松いづみ, 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention う窩病変. The Quintessence, 22, 1495-1503
- 108) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention 歯髄処置と補綴. The Quintessence, 22, 1745-1754
- 109) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention 初期中等度歯周病への介入. The Quintessence, 22, 1973-1983
- 110) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention 重度歯周炎のリスクファクター. The Quintessence, 22, 2201-2212
- 111) 熊谷 崇 (2003) 【これからの歯科衛生士の働き方】 My Hygienist が足りない!. デンタルハイジーン, 23, 1034-1039
- 112) 熊谷 崇 (2003) 自院を核として地域を変えていく メインテナンス率 50%への挑戦. アポロニア, 21117, 60-63
- 113) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル 21世紀型歯科医療と Minimum Intervention 口腔健康と喫煙. The Quintessence, 22, 2419-2426
- 114) 熊谷 崇 (2003) 歯の健康を守る 10万台のチェアを 日吉歯科の年齢階層横断調査なぜ日本人の歯は失われているか. アポロニア, 21118, 68-72
- 115) 熊谷 崇 (2003) 歯の健康を守る 10万台のチェアを ライフステージに合わせて歯を守る 成人男性の長期症例から. アポロニア, 21119, 68-73
- 116) 熊谷 崇 (2003) 歯の健康を守る 10万台のチェアを 歯科医院の新たな役割 メインテナンスが歯と人と社会を守る. アポロニア, 21120, 68-71
- 117) 西真紀子, 金谷史夫, 小口道生, 熊谷ふじ子, 熊谷 崇 (2003) 21世紀型日本の歯科医療モデル考察 21世紀型歯科医療がもたらすもの 健全な口腔に健全な肉体. The Quintessence, 22, 2693-2702
- 118) 熊谷 崇 (2003) Oral Physician についての提言 現在の歯科医療に最も必要となる役割は何か?. The Quintessence, 23, 63-66
- 119) 熊谷 崇 (2004) SAT with ISO9001 “最強医院”をつくろう 現状と課題 「メインテナンス力」を備えよう. アポロニア, 21123, 10-15
- 120) 熊谷 崇 (2004) SAT with ISO 9001 “最強医院”をつくろう 「継続」の重要性 2つの対照的ケースが示すこと. アポロニア, 21125, 10-15
- 121) 熊谷 崇 (2004) SAT with ISO 9001 “最強医院”をつくろう 生きたルール作り. アポロニア, 21127, 10-15

- 122) 熊谷 崇 (2004) SAT with ISO9001 “最強医院”をつくろう 患者-市民-国民 そして歯科医療人へ. アポロニア, 21128, 10-15
- 123) 熊谷 崇 (2004) 歯科医療の軌道修正を進めるために データを基礎に世界基準を目指す. アポロニア, 21130, 10-15
- 124) 熊谷 崇 (2004) SAT with ISO9001 “最強医院”をつくろう 日本の歯科医療に欠けていた点 コスト設定に問題はないか. アポロニア, 21132, 10-14
- 125) 熊谷 崇 (2005) 歯科構造改革論 成功する歯科医院の条件とは. 歯界展望, 105, 41-64
- 126) 熊谷 崇 (2005) 日本の歯科医療に欠けていた点 医院設計に患者本位の視点があったか. アポロニア, 21133, 10-15
- 127) Burns Sherry, 熊谷 崇 (2005) 【患者担当制の責任とやりがい】 患者担当制 海外と日本の現状. デンタルハイジーン, 25, 134-138
- 128) 熊谷 崇 (2005) 軌道修正への道 科学的, 医学的, 国際的な視点を持つ 最強医院をつくろう. アポロニア, 21134, 10-15
- 129) 熊谷 崇 (2005) 最強医院をつくろう 転換の目標 メディカルトリートメントモデルに移行する. アポロニア, 21135, 10-14
- 130) 熊谷 崇 (2005) 最強医院をつくろう 診療室での実践 メディカルトリートメントモデルを当たり前とする. アポロニア, 21136, 10-16
- 131) 熊谷 崇 (2005) 最強医院をつくろう 「開業医像」を変えよう 臨床データを把握していたか. アポロニア, 21137, 10-13
- 132) 熊谷 崇 (2005) 最強医院を作ろう。規格性のある長期症例の重要性。医院を支える「説得力の条件」 アポロニア7月号 10-15
- 133) 熊谷 崇 (2005) 「国際標準の歯科医療」とは何だろうか？制度、診療現場、教育を語る。1. 真のエンドポイント 現在の歯科医療に「説得力」はあるか。 アポロニア8月号 10-15
- 134) 熊谷 崇 (2005) 「国際標準の歯科医療」とは何だろうか？制度、診療現場、教育を語る。2. 「予防管理型歯科医療」成功の条件。本気、計画性、効率的。 アポロニア9月号 24-31
- 135) 熊谷 崇 (2005) 歯科衛生士への提言 歯科衛生士も哲学をもとう 歯科衛生士9月号 3
- 136) 熊谷 崇 (2005) 「国際標準の歯科医療」とは何だろうか？制度、診療現場、教育を語る。3. 最終回 社会制度への疑問 歯科医療の「質」を上げる条件。 アポロニア10月号 22-29
- 137) 熊谷 崇 (2005) 特別企画、歯科衛生士とともに働くということ、予防歯科大国で働く歯科衛生士より、アメリカにおける歯科衛生士の教育と役割 歯界展望11月 998-1005
- 138) 熊谷 崇 (2005) 齲蝕治療の最前線 臨床における齲蝕のリスク診断. 歯界展望 特別2005, 90
- 139) 熊谷 崇 (2005) 最強医院をつくろう 歯科衛生士の収益性 「最強」に立ちほだかる社会環境. アポロニア, 21138, 10-15
- 140) 熊谷 崇 (2005) 歯科医師生涯研修考 第1回 State of the Art を患者のために(1). 日本歯科評論, 753, 5-7
- 141) 熊谷 崇 (2005) 歯科医師生涯研修考 第2回 State of the Art を患者のために(2). 日本歯科評論, 754, 5-7
- 142) 熊谷 崇 (2005) 歯科医師生涯研究考 第3回患者の立場で歯科医療調査を見る. 日本歯科評論, 755, 5-7
- 143) 熊谷 崇 (2005) 歯科医師生涯研修考 第4回歯科メンテナンスの影響. 日本歯科評論, 756, 5-7
- 144) 熊谷 崇 (2005) 歯科医師生涯研修考 第5回国際基準の診療所. 日本歯科評論,

- 757, 5-7
- 145) 熊谷 崇 (2005) 歯科医師生涯研修考 第6回 State of the Art チーム 日本歯科評論. 758, 5-7
 - 146) 熊谷 崇 (2006) 日吉歯科診療所の25年①メディカルトリートメントモデルはこうして確立された アポロニア1月号 26-30
 - 147) 熊谷 崇 (2006) 日吉歯科診療所の25年②「変化すべきこと」と「させてはならないこと」 アポロニア2月号 26-31
 - 148) 熊谷崇 (2006) 日吉歯科診療所の25年③「患者教育」はなぜ受け入れられ、定着したか アポロニア3月号 26-30
 - 149) 熊谷 崇 (2006) 日吉歯科診療所の25年④「国際基準」の歯科医療を追究するために走り続けた アポロニア4月号 22-26
 - 150) 金谷史夫, 熊谷 崇 (2005) 新・臨床に役立つすぐれモノ リサ(Lisa). デンタルダイヤモンド, 30 (15), 132-137
 - 151) 熊谷 崇 (2006) 日吉歯科診療所の25年 日本の医療へのプロテスト アポロニア, 5月号, 22-27
 - 152) 土門志穂, 金谷史夫, 熊谷 崇 (2006) 特集 日吉歯科診療所のメンテナンス 歯科衛生士の業務の実際〈前編〉 デンタルハイジーン, 280
 - 153) 土門志穂, 金谷史夫, 熊谷 崇 (2006) 特集 日吉歯科診療所のメンテナンス 歯科衛生士の業務の実際〈前編〉 デンタルハイジーン, 281, 557-572
 - 154) 熊谷 崇 (2006) 特集 メンテナンス・ルネッサンス 今こそメンテナンスを日本の常識に 歯界展望, 107, 1142-1170
 - 155) 熊谷 崇 (2007) 生涯、自分の歯で食べられるための歯科医療行政のあり方 歯科展望, 109, 34-39
 - 156) Roy C Page・熊谷崇・仲川隆之 (2007) インターネットで診断する歯周病のリスクファクター デンタルハイジーン, 297
 - 157) 熊谷 崇, 仲川隆之 (2007) 真の患者利益を提供できる医院づくり, 患者さんが癒される歯科医院設計、クインテッセンス別冊 建築-歯科医院のデザイン設計&リニューアル, 137-144
 - 158) 熊谷 崇 (2008) 歯科医療の改革に、今、何が必要か 歯科展望, 111, 59-70
 - 159) 熊谷 崇 (2008) 日本の歯科医療を改革するために クレリィエール, 408
 - 160) 熊谷 崇 (2008) あのDrのスケジュールと健康管理, アポロニア
 - 161) 熊谷 崇, 加藤大明 (2008) 唾液検査ガイドブック、日本歯科評論別冊 10-29

【著書】

- 1) 熊谷 崇, 熊谷ふじ子, 鈴木昇一 (1992) 口腔内写真の撮り方. 医歯薬出版, 東京
- 2) 熊谷 崇 (1994) 歯周病とう蝕の健康管理ファイル 治療編. 医歯薬出版, 東京、
- 3) 熊谷 崇, 熊谷ふじ子, 藤木省三, 岡 賢二, Douglas Bratthall (1996) クリニカルカリオロジー. 医歯薬出版, 東京
- 4) 熊谷 崇, 岡 賢二, 藤木省三 (1996) 歯科衛生士のための健康志向の診療室づくり. 永末書店, 京都
- 5) D. Bratthall, G. Hansel Petersson, J. R. Stjernswärd: 翻訳; 村松いづみ, 鈴木 章, 熊谷 崇 (1996) カリオグラム マニュアル. オーラルケア, 東京、
- 6) 熊谷 崇 (1997) 20歳からの歯周病対策. 講談社, 東京
- 7) 熊谷 崇, 岡 賢二, 藤木省三, 熊谷ふじ子 (1999) わかる!できる!実践カリオロジー. 医歯薬出版株式会社, 東京
- 8) 熊谷 崇, 藤木省三, 岡 賢二, 熊谷ふじ子 (1999) わかる!できる!実践カリオロジー. 医歯薬出版, 東京
- 9) 飯島洋一, 熊谷 崇 (1999) カリエスコントロール 脱灰と再石灰化のメカニズム. 医歯薬出版, 東京

- 10) 熊谷 崇, 秋元秀俊 (2000) むし歯・歯周病「一生笑顔」を約束する新しい歯科の知識. 法研, 東京
- 11) 熊谷 崇 (2000) わたしの歯の健康ノート. 医歯薬出版, 東京
- 12) 熊谷 崇 (2000) 公開ワークショップ予防医療のマネジメント全記録 歯科における健康管理医療の展開と社会保険医療制度. オーラルケア, 東京
- 13) 高江州義矩, W. R. Hume, 熊谷 崇, 日野浦 光 (2002) GC MIプログラム 基礎編・臨床編. GC社, 東京
- 14) 熊谷 崇, 秋元秀俊 (2003) 「歯科」本音の治療がわかる本. 法研, 東京
- 15) 熊谷 崇 (2003) Evidence based preventive dentistry はじめに予防ありき. デンタルダイヤモンド社, 東京
- 16) 中川種昭, 前田芳信, 藤井康伯, 武田孝之, 宮地健夫, 熊谷 崇 (2004) 「まもる」「つたえる」「きわめる」「めざす」思考する歯科医・行動する歯科医. 永末書店, 京都
- 17) Sherry Burns, R. D. H., M. S : 校閲 ; 熊谷 崇 (2004) シェリー・バーンズのペリオ急行へようこそ. 医歯薬出版, 東京
- 18) 熊谷 崇, 熊谷ふじ子, 鈴木昇一 (2007) 新口腔内写真の撮り方. 医歯薬出版, 東京
- 19) 熊谷 崇, Roy C Page (2008) 見てわかる! 歯周病リスク評価と臨床応用 医歯薬出版, 東京

【学会発表】

- 1) 田浦勝彦, 楠本雅子, 坂本征三郎, 熊谷 崇 (1998) 齲蝕検出方法に関する質問紙法調査 探針使用についてのわが国と諸外国との比較. 第47回口腔衛生学会総会・大会, 宮城
- 2) 花田信弘, 武内博朗, 井田博久, 由川英二, 熊谷 崇 (2000) ミュータンスレンサ球菌の臨床的除菌法の検討 PMTC法とドラッグリテーナーの併用効果. 第49回口腔衛生学会総会・大会, 北海道
- 3) 熊谷 崇 (2000) 歯周病の発症と進展における遺伝性素因と環境素因 歯周病の科学的予知性をめぐって 歯周病のリスクファクターとしての喫煙習慣 臨床疫学的見地からの考察. 第43回秋季日本歯周病学会学術大会, 大阪
- 4) 花田信弘, 野村義明, 武内博朗, 泉福英信, 熊谷 崇 (2001) 3DSによるミュータンスレンサ球菌除菌に関する臨床研究. 第50回口腔衛生学会総会・大会, 愛知
- 5) 竹原直道, 安細敏弘, 花田信弘, 稲葉大輔, 豊島義明, 熊谷 崇, 佐藤勉, 由川英二 (2001) 口腔保健のための総合的検査項目の検討 年代別う蝕検査項目・基準値に関して. 第50回口腔衛生学会総会・大会, 愛知
- 6) 熊谷 崇(国立感染症研究所), 野村義明, 泉福英信, 武内博朗, 花田信弘 (2001) 新規齲蝕発症におけるリスク因子の評価. 第50回口腔衛生学会総会・大会, 愛知
- 7) 熊谷 崇 (2002) 歯科臨床におけるニューパラダイム. 第1回日本大学口腔科学学会学術大会, 千葉
- 8) 西真紀子, 熊谷 崇 (2002) カリオロジーに基づいた学校歯科健診について. 第98回大阪大学歯学会例会, 大阪
- 9) 西真紀子, 熊谷 崇 (2002) 齲窩形成前齲蝕病変(precavity)の診査・診断・処置について. 第117回日本歯科保存学会秋季大会, 徳島
- 10) 野村義明, 花田信弘, 鶴本明久, 熊谷 崇 (2003) データマイニングによる齲蝕発症予測モデルの構築. 第52回口腔衛生学会総会・大会, 福岡
- 11) 熊谷 崇 (2003) 口腔ケア. 第20回日本障害者歯科学会総会・学術大会, 東京
- 12) 熊谷 崇, 重光竜二, 太郎丸毅, 鷺尾純平, 小関健由, 佐藤拓一, 高橋信博 (2003) 歯垢中の mutans streptococci の PCR 法による検出について. 第42回東北大学歯会, 宮城
- 13) 野村義明, 鶴本明久, 熊谷 崇 (2003) 定期管理受診者中の8020達成者の縦断調査. 第10回日本歯科医療福祉学会大会・総会, 大阪

- 14) 熊谷 崇 (2003) かかりつけ歯科医としての歯周治療. 第 46 回秋季日本歯周病学会 学術大会, 新潟
- 15) 三輪全三, 茂木瑞穂, 岩崎由紀子, 北迫勇一, 杜塚美千代, 西真紀子, 熊谷 崇, 斉藤季夫, 野村聡, 田上順次, 高木裕三 (2003) ハンディ型 pH メーターを用いた唾液酸緩衝能検査によるう蝕リスク診断法 小児調査報告から. 第 119 回日本歯科保存学会 秋季大会, 岐阜
- 16) 熊谷 崇 (2004) う蝕治療の最前線 臨床におけるう蝕のリスク診断. 第 20 回日本 歯科医学会総会, 神奈川

【一般メディア取材 (テレビ)】

- 1) NTV ごぞんじですか? (1994)
- 2) NHK ためしてガッテン (1995)
- 3) NHK 健康ホットライン (1998)
- 4) NHK クローズアップ現代 (1998)
- 5) NHK サイエンスアイ (1998)
- 6) NTV 特命リサーチ 200X (2003)
- 7) NHK 難問解決! ご近所の底力 (2005)
- 8) NHK ためしてガッテン! (2008)

【一般メディア取材 (新聞他)】

- 1) 読売新聞 医療ルネッサンス (1995)
 - 2) 毎日ライフ 歯科医からのメッセージシリーズ全 14 回 (1995~1996)
 - 3) 共同通信 歯を守る -治療から予防へ- 全 20 回 (1997~1998)
 - 4) 教育医事新聞 予防重視へ転換を目指す (1998)
 - 5) 教育医事新聞 初期う蝕の診査に探針使用は不適 (1998)
 - 6) 読売新聞 「甘いもの」大好きな虫歯菌、3 歳までは摂取控えめに (1999)
 - 7) 読売新聞 すぐ削る歯科医はなぜ多い (2000)
 - 8) 読売新聞 歯周病、30 代でつけ (2001)
 - 9) 荘内日報 歯の健康世界一を目指し 全 10 回 (2001)
 - 10) 読売新聞 学校健診「針でガリガリ」やめます (2002)
 - 11) 読売新聞 歯科「探針」学校健診でむし歯を助長する恐れ (2002)
 - 12) 読売新聞 初期むし歯は削らずに自然に治す力働かせる (2003)
 - 13) 読売新聞 探針がむし歯を増やす とがった器具でひっかけ穴 (2003)
 - 14) 読売新聞 医療ルネッサンス 全 6 回 (2005)
 - 15) 日経ヴェリタス 治療より日々のメンテナンス (2008)
 - 16) 読売新聞社 歯科の実力 治療よりメンテナンスが大事だった! (2008)
-